

ぷらっとふぉーむ通信

Ver. 63

【発行】

2025年9月



縁起プロジェクトで、2日にわけておこないま〜す♪

公開講座

1 9/11（木） 14：00～16：40

【場所】社会福祉センター2階 大会議室
（泉佐野市中庄1102番地）

<内容>

●講演「つながり」を大切にする居場所の意義

～自分もあなたも大切にするための心理学～

講師：岩田 光宏 氏（大阪経済大学 人間科学部 准教授
／公認心理師・臨床心理士）

●ひきこもり体験談 高木 信洋 氏

（当事者団体「さなざんど」で活動中）

●茶話会

2 9/16（火） 13：00～15：00

【場所】シャッピーハウス

（泉佐野市大西1丁目16-5 らいふらいんぱらど1階）

<内容> 講師：岩田 光宏 氏

居場所づくりワークショップ

～あなたの知らないボードゲームの世界～



申し込みは、直接基幹
またはコチラ
で当日参加
申し込みしない
でもOK

憩いの木
こくべつばん
特別版

憩いの木に、公認心理師・臨床心理士の岩田先生をゲストとしてお招きする特別会★
心が軽くなるヒントや気になっていることなど一緒に話をしてみませんか？

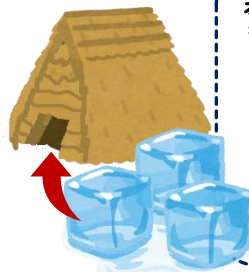
10/7（火） 13：30～15：30

※年間予定の10/9（木）の予定を振り替え

【場所】社会福祉センター 2階 小会議室

前号のかき米の記事について、読者より「昔は米ってどうしてたんやろ？」と、質問がありました★

4000年前から米は利用されており、日本では奈良時代から夏場に氷があったのです。冬場にできた天然の氷を洞窟や穴などに入れ、小屋（＝氷室）を建てて覆って保存してました。官営氷室があって、役人によって管理されており、豪雪地帯を除くと、夏場に氷を利用できるのは、近代になるまで権力者だけだったそうです。



基幹包括支援センターいずみさの
〒598-0002

泉佐野市中庄1102 社会福祉センター内

☎072-464-2977

（土日祝以外の8：45～17：15まで）

Mail/kikan@izumisanoshakyo.or.jp

担当/山口・朝熊

お月見といえば「十五夜」や「中秋の名月」などと耳にします。
「中秋の名月」とは、旧暦の秋の真ん中の8月15日という特定の日の月の呼び名。月の満ち欠けの周期と旧暦の日付のズレによって必ずしも完璧な満月であるとは限らないそうです。。。



今年の
十五夜は
10/6

お月見の由来は、中国の「中秋節」で、旧暦の8月15日に、収穫を感謝し家族のだんらんを願って満月を觀賞するお祭りで、平安時代に日本に伝わりました。
また日本では古くから、月は神聖なものとして信仰の対象でもあり、月の満ち欠けが農作業の時期を知らせるカレンダーのような役割も。お月見は、「五穀豊穡を願う収穫祭」として重要な意味があるのです。